

ワークショップ①

「つながったパートナーと共に何ができるか考える」プログラム

困りごとと解決

オリエンテーション

訓練ワーキンググループ
2日目担当者

ワーク「困りごとの確認と共有」(10:10~10:20)

- ◆ まずは、事前課題(県内課題)ワークシート2と3(3-1、3-2)、および昨日のワークシート(資料2-3)「困りごと札」を再確認してください
 - ◆ 「困りごと札」には、困りごとが3つあるはずです
 - ◆ その中に、事前課題(県内課題)ワークシート2の「1. 災害時要援護者に関する困りごと」があるかどうかを確認してください
 - ◆ 「1. 災害時要援護者に関する困りごと」が入っていない場合、これを加えていただき、「困りごと札」の3つの中から1つをなくしてください

⇒優先順位の高い3つの「困りごと」を選んでもらいます

⇒「1. 災害時要援護者に関する困りごと」は、必ず選んでいただき、それ以外で2つの困りごとの解決方法を考えていただきます

ワーク「困りごとと解決ワーク」(10:20~10:50)

- ◆ さきほど選んでいただいた3つの「困りごと」の解決を、各班で目指していただきます
 - ◆ まずは、「困りごと」の中で、『①県内団体でできること』を考えてみてください。その際、県外団体の方々も一緒に考えてみてください
 - ◆ 次に、その「困りごと」を解決するために、『②県内外の団体で連携してできること』を考えてみてください
 - ◆ 最後に、困りごと解決のために、『③県V本部へ要請したいこと』を考えてみてください
 - ◆ 必ず取り組んでいただく「1. 災害時要援護者に関する困りごと」については、事前課題（県内課題）3-1や3-2が参考になるかと思います
 - ◆ 可能であれば、「支援プログラム」として考えられるようにしてください
 - ◆ 「困りごとの解決」には、「単につなぐ」だけではなく、「具体的に解決可能な形でないと解決できない」という判断をしてください

⇒優先順位の高い3つの「困りごと」について解決方法を考えてもらいます

⇒「困りごと」が解決しない場合もあるかと思います

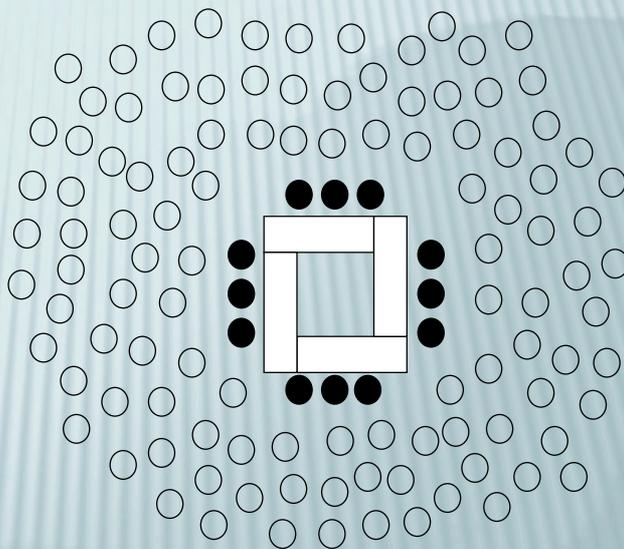
⇒文章にしなくても構いません。箇条書きやキーワードを挙げていくだけでも構いません

⇒支援チームの方々は、「困りごと」がどんな方法で解決したのか、もしくは解決できなかったのかを

午後のプログラムで県V本部に持ち帰ってください

「市町共有会議への準備」(10:50~11:00)

- ◆ 11:00から皆さんの「困りごとと解決」を共有する『市町共有会議』を実施します
- ◆ 参加者は下記の通りです
 - ◆ 各市町から代表者 1名
 - ◆ 支援チーム担当者 1名
 - ◆ 県V本部エリア担当者1名
- ◆ 会場レイアウトを右図のようにしますので、ご協力をお願いいたします



これからのプログラムについて

- ◆ 10:00 オリエンテーション
- ◆ 10:10 ワーク「困りごとの確認と共有」
解決したい困りごとを確認します
- ◆ 10:20 ワーク「困りごと解決ワーク」
「困りごとの解決」を目指します
①「県内でできること」を考えます
②「県内外で連携してできること」を考えま
す
- ◆ 10:50 市町共有会議への準備
- ◆ 11:00 市町共有会議
市町共有会議には、各市町から1名の方に
参加していただきます

「市町共有会議」(11:00~11:30)

- ◆ 進行: 県V本部エリア担当者
- ◆ 記録: 県V本部担当者の中から選出

- ◆ 県V本部からは、市町の困りごとに対応するためのプログラムの内容を報告してもらいます
 - ◆ 県V本部では、午前中、市町の「困りごと」に対応するためのプログラムを考えていただいております
 - ◆ 市町の方々はそのプログラムを聞いて、自分たちの解決プログラムや県V本部への要請内容と照らし合わせてみてください

- ◆ 各市町からは、県V本部への要請内容を報告してもらいます
 - ◆ 県本部への要請内容がない(もしくは考えられなかった)場合は、市町で考えた解決方法を報告してください
 - ◆ 「この『困りごと』に取り組んだが、解決できなかった」という報告でも構いません